

- 1 水を電気分解した際、マイナス極側から発生する気体を何という？
- 2 同温・同圧の条件下であれば、気体の種類に関わらず同じ体積中に共通して含まれている粒子を何という？
- 3 化学反応において、反応する成分原子の個数と個別の重さに応じて、物質同士で常に一定に保たれる比率のことを何という？
- 4 構成する粒子の種類と数を記号で表したものを何という？
- 5 化学変化の前後で、物質全体の重さが変化せず一定に保たれるという決まりを何という？
- 6 酸化銀を加熱した際に発生する、物を燃やすはたらきを持つ気体は何という？
- 7 物質に水分が含まれているかを調べる際、青色から赤色へ変色させることで確認する試験紙を何という？
- 8 銅などの金属を磨いたときに現れる、独特の輝きを何という？
- 9 鉄の粉末を空気中で熱したときに酸素と化合してできる、黒色の物質は何という？
- 10 異なる種類の物質が結びつき、全く別の物質ができる化学変化のことを何という？
- 11 化学変化を元素記号や数字を用いて表した式を何という？
- 12 それ以上分けることができない、物質をつくる最小の粒子を何という？
- 13 金属などが酸素と結びついて新しく生成された物質を何という？
- 14 水溶液を加熱して溶媒を蒸発させ、溶けていた物質を固体として取り出す操作を何という？
- 15 マグネシウムを加熱して燃焼させたときにできる、白い粉末状の物質を何という？
- 16 水溶液にしたときに、リトマス紙を青色に変えるような性質を何という？
- 17 物質が酸素と化合して別の物質に変わる化学変化を何という？
- 18 標準気圧のもとで、物質が液体から気体へと変化する温度のことを何という？
- 19 物質を構成する原子の種類をアルファベットなどを組み合わせて表した記号を何という？
- 20 マグネシウムを空気中で加熱した際に生成される、酸素と結合した物質を何という？
- 21 他の物質が燃えるのを助ける働きを何という？
- 22 1種類の物質に熱を加えることで、2種類以上の別の物質に分かれる化学変化を何という？
- 23 物質に電流を流すことで引き起こされる分解反応を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	電気エネルギーを用いることで、水分子が分解され、陰極から <u>水素</u> 、陽極から酸素が発生します。		<u>水素</u>	☐
2	いくつかの原子が結びついた、物質の性質を示す最小の粒子です。		<u>分子</u>	☐
3	化学反応において、反応物同士が結びつくとき、それぞれの物質の質量は常に決まった整数比になります。		<u>質量比</u>	☐
4	<u>化学式</u> は、構成する原子の種類と数を元素記号と数字を使って表したものです。		<u>化学式</u>	☐
5	密閉された空間で化学変化を行うと、反応物の合計質量と生成物の合計質量が必ず一致することが証明されました。		<u>質量保存の法則</u>	☐
6	酸化銀 (Ag ₂ O) を試験管に入れて加熱すると、銀 (Ag) と <u>酸素</u> (O ₂) に分解されます。		<u>酸素</u>	☐
7	乾燥した状態の <u>塩化コバルト紙</u> は青色をしていますが、水分子と結合すると結晶水を取り込み、赤色（または桃色）に変化する性質を持っています。		<u>塩化コバルト紙</u>	☐
8	<u>金属光沢</u> は、自由電子が光を反射することで生じる金属独特の性質です。		<u>金属光沢</u>	☐
9	鉄の粉末を空气中で熱すると、激しい熱と光を出しながら酸素と結びつき、黒色の <u>酸化鉄</u> （四酸化三鉄など）に変化します。		<u>酸化鉄</u>	☐
10	<u>化合</u> は、原子同士が化学結合することで新しい分子や物質を作るプロセスです。		<u>化合</u>	☐
11	<u>化学反応式</u> は、反応に関与する物質の元素記号を用います。		<u>化学反応式</u>	☐
12	この粒子が1種類だけ集まっている物質を「単体」と呼びます。		<u>原子</u>	☐
13	酸化によって生じた物質を総称して呼びます。		<u>酸化物</u>	☐
14	<u>再結晶</u> は、一度溶かした物質を再び固体として取り出す方法です。		<u>再結晶</u>	☐
15	<u>酸化マグネシウム</u> は、マグネシウムを加熱したときに、まぶしい光を放ちながら酸素と反応して生成される白い粉末状の物質です。		<u>酸化マグネシウム</u>	☐
16	<u>アルカリ性</u> を示す物質は、水に溶けると水酸化物イオンを生じます。		<u>アルカリ性</u>	☐
17	<u>酸化</u> とは、物質が酸素原子と結びつく化学変化を指します。		<u>酸化</u>	☐
18	この温度を <u>沸点</u> といい、物質の種類によって固有の値を持っています。		<u>沸点</u>	☐
19	<u>元素記号</u> は、アルファベットの大文字1文字または大文字と小文字の組み合わせで表されます。		<u>元素記号</u>	☐
20	マグネシウムと酸素が化学反応を起こすことで、新しい物質である <u>酸化マグネシウム</u> ができます。		<u>酸化マグネシウム</u>	☐
21	<u>助燃性</u> は、主に酸素などが持つ性質で、火がついているものに対してさらに燃えやすくさせる働きを指します。		<u>助燃性</u>	☐
22	<u>熱分解</u> は、物質を加熱することで元の物質を構成する原子の結合が切れ、より単純な物質へと変化する現象です。		<u>熱分解</u>	☐
23	電解質水溶液や融解させた物質に電流を流すと、イオンが各極に引き寄せられ、そこで分解が進みます。		<u>電気分解</u>	☐

言えなかった用語ノート